

令和7年度 神奈川県立二宮高等学校第3回学校運営協議会 議事録

日時 令和8年3月11日（水）15：45～16：45

会場 神奈川県立二宮高等学校（会議室）

司会 瀬戸 淳一 教頭

書記 栗原 京 学校管理G

参加者 二見 敏夫（選挙管理委員会・二宮高等学校同窓会会長）
杉崎 雅子（学識経験者・小田原短期大学保育学科准教授）
近藤 優（地域代表・一色地区長）
村上 猛（地域代表・緑ヶ丘地区長）
伊庭 しげみ（二宮町立一色小学校 校長）
藤田 和人（二宮町立二宮西中学校 校長）
松本 幸生（二宮町教育委員会 教育部長）
猪俣 聡（学校長）

学校側

細田 高志 副校長
瀬戸 淳一 教頭
坂上 圭子 事務長
中田 圭介 学校管理G 総括教諭
朝賀 千枝子 学習支援G 総括教諭
小山 健太郎 生徒支援G 総括教諭
田中 美沙 進路支援G 総括教諭
坂元 孝子 生活指導G 総括教諭
飯川 裕太 インクルーブ教育実践推進G グループリーダー
竹内 仁美 学校管理G 実習指導員

次 第

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議事
 - (1) 学校評価報告書について（副校長）
 - (2) 各グループより報告
 - ・学校管理G
 - ・学習支援G
 - ・生徒支援G
 - ・進路支援G
 - ・生活指導G

- ・インクルーシブ教育実践推進G
- (3) 質疑応答
 - (4) 副校長より

以下、議事録

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議事

- (1) 学校評価報告書について（副校長）

- (2) 各グループより報告

- ・学校管理G

防災訓練実施を9月から4月に移動。DIGも実施。

私費の補正予算を組み、会計の適正を目指した。PTAと生徒指導Gのタイアップでスケアードストレイト実施。

- ・学習支援G

ICT活用のアップデート。達成感がありねらいがわかる授業のためのツールとして活用。学習の意義を生徒にわからせたい。

- ・生徒支援G

地域との連携に感謝。部活動の実績で横断幕をPTAが作成、貼りだした。7年ぶりに生徒会役員選挙が実施された。新たな役職として庶務を設置。これにより新入生が選挙前でも生徒会活動が可能となる。

- ・進路支援G

進路指導の多様化に向けてニーズに応える指導が必要。生徒の活動と地域の連携が必要。就職希望の生徒が増えた。

- ・生活指導G

バス停や二宮駅で下校指導を継続。喫煙問題の継続検討。校内巡回も実施中。スケアードストレイトは生徒にはインパクトがあった様子だった。

SC・SSWとの連携相談支援も継続。

- ・インクルーシブ教育実践推進

中学校（教員・生徒）・本校保護者対象の説明会実施。特別募集枠の生徒への継続的支援を実施。保護者対象の講演会が参加者が少ないので、オンラインや書面報告など工夫が必要。

- (3) 質疑応答及びコメント

村上氏：就職希望が増えた理由は？

進路支援G：金銭的な理由や早く働きたいと考える生徒が増えている昨今、賃金も上がっているなど世情の影響もある。

近藤氏：岩崎のバス停の清掃をしているところを見た。たばこの吸い殻など状況をもっと学校に知ってほしい。

生徒指導G：情報があれば様子も見に行き、清掃もしている。また見回りもしている。

生徒支援G：地域貢献デーで行事として学校周辺の清掃活動を行った。また、生徒会活動で菜の花ウォッチングなどでごみ拾いもしている。

伊庭氏：生徒会の学年構成は？学校全体の地域貢献度を上げる手立ては？

生徒支援：2年生4人、1年生8人。地域貢献は1年生で実施、2～3年生はアンケート実施。全体の貢献度をあげるには工夫が必要。

校長：やれる範囲で安全に生徒の活動を増やしていきたい。

杉崎氏：新入生は人数少ないが何かプランはあるのか？インクルGの人数を増やす改善はどのような内容か。

学習支援G：まだ具体的な計画はこれから。きめ細かく支援できるので周りに助けを求められる生徒になってほしい。

インクルG：11月に特別募集生徒保護者対象の研修会を開催したが、仕事の都合などで参加が難しい保護者が多い。オンラインや書面共有を考えている。

松本氏：町では高校との接点が少ないので、今回の機会は貴重。インクルGの保護者向け講演会は年代によってもニーズが違うと思われる。保護者の反応は？

インクルG：特にアンケートは取っていないが、終了後に卒業後の情報がきけてよかったという声をいただいている。

二見氏：新入生91名で少人数クラスとなるが、新たな展開で二宮高校の生きる道を模索してほしい。

校長：個別最適化の学びのチャンスと捉えて一人一人に目をかけて指導支援していきたい。

(4) 副校長より事務連絡

以上